

<「知るっば!久留米」 令和2年7月16日(木) 12:30~放送分>

筑後川の生き物 ～第3回～ オヤニラミ

<ゲスト：筑後川防災施設くるめウス 川嶋 睦己さん>

坂本 MC (以下「坂本」)

「知るっば!久留米」ナビゲーターの坂本豊信です。

7月は久留米のシンボルである筑後川について知ろうということで、『筑後川の生き物』をテーマにお送りしていきます。

今回のゲストは、この方です。

ゲスト:川嶋睦己さん (以下「川嶋」)

筑後川防災施設くるめウスの川嶋睦己と申します。

よろしくお願いします。

坂本 筑後川の生き物シリーズ第3回になります。

テーマは、知る人ぞ知る『オヤニラミ』です。

オヤニラミとは、なんかちょっと怖そうな名前ですが、こちらも川魚ということですが、どんなお魚なんでしょうか？

川嶋 オヤニラミってドキッとさせる名前ですよ。

これは全国統一の標準和名です。

久留米市の近くでは、ヨツメとかセイベイなどと呼ばれています。

バラエティ豊かな名前の由来は、後半でお話しさせていただきます。

坂本 でした、標準和名。第1回目に教えてもらいましたので、私はバッチリ覚えちゃったよ。

標準和名は日本共通の名前で、学名はラテン語で世界共通の名前だったですよ？

川嶋 はい、そのとおりです。

坂本 このオヤニラミっていうのは、筑後川にしか生息していないんですか？

川嶋 オヤニラミは、西日本の一部、それから四国、九州北部に分布する在来種です。

エサは小さな水生昆虫の肉食で、丸呑みして食べます。

闘争心がすごく強くて、大きさこそ最大10センチほどなんですが、外見はイカツイ雰囲気を出しています。

色は全体的に褐色をしてるんですが、濃淡でヨコジマ模様が入っています。

ちなみに、お魚のタテジマとヨコジマなんですが、頭から尾ヒレに向かうのがタテジマ、背中からお腹に向かうのはヨコジマなんですよ。

坂本 なるほど。お魚の頭を上、尾ひれを下にした時に、シマが上下か左右かってことですね。

人間と一緒に考えればいいんですね。

頭が上で足が下なので縦のシマがタテジマ、左右がヨコジマということですね。

では、オヤニラミの生態なんですが、先ほど闘争心が強くてイカツイということですが、もうちょっと詳しく教えてください。

川嶋 先ほど申し上げたように、オヤニラミは闘争心が強く、自分の縄張りを作って暮らしているんですね。

生息場所は、流れが速い場所よりも流れが緩やかな場所を好んだり、水草の茂ったような隠れる場所があるようなところが大好きなようですね。

坂本 じゃあ、そういうところに潜んで、エサがきたらパクッと丸呑みにしてしまうんですね。

では、そろそろオヤニラミのドキッとさせる名前の由来について教えてくださいませんか？

川嶋 オヤニラミは、たくさんのお魚の名前があるお魚なんです。

まずはそちらからお話しさせていただきますが、ヨツメと呼ばれることがあります。

これはオヤニラミのエラブタに目玉のような青くて丸い模様があるんですが、左右に本物の目が2つとエラブタに丸い模様が2つ付いているので、トータルで4つの目があるように見えるのでヨツメと呼ばれているそうです。

それから、オヤニラミやセイベイという名前もあるんですが、セイベイはミズクリセイベイというのが元々の呼び名なんですが、この2つはオヤニラミのある習性から付けられたそうなんです。

坂本 それはどんな習性ですか？

川嶋 オヤニラミは、葦の茎などの水中植物に卵を産み付けるんですね。

まず、卵を産む前にオスがお腹でゴシゴシと産み付ける場所をお掃除するんですね。

そして、綺麗にした所にメスが卵を産み付けるんです。

産卵後、オヤニラミのオスは、外敵が近づいてきたら、それを追いかけて、突いて攻撃して追い払って卵を守るんですね。

そして、絶えず卵の周りに新鮮な水が行き届くように胸ビレで水を送るようなことをするんですね。

この親が外敵に睨みを利かせるところからオヤニラミと呼ばれたり、水をくり送る仕草からミズクリセイベイという名前がついたと言われています。

一見怖いようなお魚なんですけど、実は心優しいお魚界のイクメンパパといったところかもしれませんね。

坂本 なるほど。お父さんが努力して家庭を守ってる感が出てますね。
ますますオヤニラミに会いたくなってきましたが、オヤニラミってくるめウスに行ったら会えるんですか？

川嶋 普段はくるめウスで展示しているんですが、ちょうど今の時期だけいないんですよ。
また、今後、生態系に負荷をかけない形で筑後川からお借りして、展示を再開したいと考えています。

坂本 くるめウスの生き物たちは、スタッフのみなさんが川から連れてきてるんですね？

川嶋 そうですね。
あとは、釣り好きの方が捕まえた生き物をいただいて展示したりしています。

坂本 くるめウスの川嶋さん、今回も面白いお話をありがとうございました。
防災施設くるめウスは、久留米市新合川の筑後川側にあります。
開館時間は午前9時30分から午後5時までです。
毎週月曜日はお休みです。みなさん、ぜひお出かけ下さい。
なお、新型コロナウイルス感染の状況によっては、お休みすることもあります。
次回は、筑後川に生息する『ブルーギル』をテーマにお届けします。